上越総合病院
地域連携センター便り

2016
10月号

清秋の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より当院に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

連日猛暑となった今年、また例年にない台風の上陸が多くあった夏も終わりをむかえ、日増しに涼しさが増してまいりました。今年度も半期が経過をいたしましたが、診療報酬改定の影響などもあり、改めて我々の医療業界を取り巻く状況が厳しいことを日々感じております。

さて、昨今の医療情勢を取り巻く環境も刻々と変化をしておりますが、当院においても、専門医制度の創設や大学病院、大病院などとの関係において、この１，２年で大きく変わろうとしております。現在、新しい制度に向けて院内の体制づくりを準備しているところです。

一方で上越地域全体を見回してみると、一昨年に北陸新幹線が開通をしました。上越地域という枠組みを超えた交流が今後見込まれておりますが、医療においても、医師をはじめとした医療従事者の交流が考えられます。交通の便を活かした関東、長野、北陸地方より優秀な人材が確保できるのではないかと考えております。その中で地域に選ばれる病院、必要とされる病院でありたいと思い、より質の高い医療を地域の皆様に提供すべく、職員一同で日々努力をしております。各診療科での専門分野における診療は勿論ですが、昨年より開設をいたしました総合診療科についても、より充実した体制で今年度は診療を行っております。身体の様々な症状を持った患者様をどこの科に紹介したら良いのか、判断が難しい症状の患者さんを受け入れておりますので、お気軽にお問合せやご紹介をいただきたいと思います。

また、以前、上越市は高齢者の移住政策の候補地ランキングで上位であると報道されましたが、その要因の１つである医療の提供について病院、地域の開業医などの医療体制の充実が重要であると考えております。そのため上越地域全体で医療の連携を図り、地域住民が安全で安心して暮らせる環境づくりが必要です。当院の地域連携センターにおきましてはいたらぬことも多々あるかとは思いますが、上越地域の将来のため、関連施設と協力して頑張ってまいりたいと思います。

秋、深まりゆく季節、皆様方にはご自愛いただきますとともに、今後ともご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

上越総合病院　総務課長
阿 部　一 也

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

上越総合病院　地域連携センター
電　話　025-524-3000（代表）
ＦＡＸ　025-524-3140（直通）まで

病理診断科 紹介

これからの当院病理診断

病理診断科　関谷　政雄

平成28年3月31日に新潟県立中央病院（以下県中）を退職し、4月1日から当院病理診断科に勤務しています。

上越地域で病理診断科を標榜し、病理専門医が常勤している病院は、県中と新潟労災病院でした。当院の病理診断については、かなり以前から当院や厚生連長岡中央綜合病院（以下長中）等の様々な方々からお聞きしていました。病理検体の質・数量からは他施設に全面依頼する状況ではなく、常勤病理医が必要な病院と感じていました。

病理部門の整備は12月中・下旬に完了し、他病院病理部門に比して遜色の無い充実した施設、機器、病理診断システムとなります。スタッフは、3月までは常勤細胞検査士2名と非常勤細胞検査士1名でしたが、細胞診検査士4名になりました。若手からベテランがそろい、全員が病院病理部門の経験者で細胞診業務に、また他の検体処理・標本作成にも習熟しています。4月以降、病理診断科の標榜と保険診療の病理診断施設基準の届出を行い、細胞診は検査士4名全員と私で検討し、全て当院で診断し報告していますが、細胞診判定能力はかなり高いと感じております。

毎週1回、消化器内科・外科・放射線診断科・病理診断科による4科合同検討会も始まりました。病理診断開始後はオーダリングシステムで病理診断システムの診断・画像（肉眼・顕微鏡写真）を見ることができる様になります。これで病理データを含む診断から治療後までの検査結果が全てオーダリングシステムに集約され、症例の診断・治療の再評価が簡便に検討でき、毎週の検討会の質がより濃密になり、後の診断・治療のレベルアップに繋がると考えています。

これまで当院の病理診断は長中・県中・富山大学医学部病理、新潟大学医学部内科など多数の施設にお願いしてきました。施設整備終了後には当院病理診断科に統一される事で依頼医と病理医間の意思疎通が容易で緊密になります。また検体輸送等が省ける事で診断報告も早くなります。放射線診断科、外科、麻酔科等の臨床各科が充実してきており、当院の治療・診断が自己完結型になりつつあると言えます。

一人病理医の難題は一緒に検鏡し相談する相手がいない事、つまり診断の精度管理です。近隣の病理医に駆けつける事、年数回の新潟病理医会検討会への参加、学会のコンサルテーションシステムの利用も想定していますが、これでは随時とは言えません。幸いにも、画像回線で肺癌術中迅速診断をお願いしてきました富山大学第一病理・井村教授に、これからも中心となる関連大学としてご協力をお願いする事ができ、画像回線で随時組織診断の相談を行える事になりました。

先生方とは、ご紹介して頂いた患者さんの病理診断を通じて臨床科を介した間接的な連携となりますが、宜しくお願い致します。

新任医師 紹介

外科部長　伊達（だて） 和俊（かずとし）
出　身　地：愛媛県
出身大学：新潟大学
趣味・特技：読書・音楽鑑賞
抱　　負：
患者さん個別に最適な医療を提供できるように精進していきたいと思います。

外科部長　藤田（ふじた） 加奈子（かなこ）
出　身　地：富山県
出身大学：新潟大学
趣味・特技：スキー
抱　　負：
労災病院から異動となりました。これまで同様、上越地域の医療に貢献できるように努めてまいります。
よろしくお願いいたします。

外科医長　丸山（まるやま） 智宏（ともひろ）
出　身　地：新潟県上越市高田
出身大学：弘前大学
趣味・特技：野球
抱　　負：
外科的治療が必要な患者さんのために、少しでもお役にたてればと思っています。
今後ともよろしくお願いいたします。

小児科医師　中山（なかやま） 有美（ゆみ）
出　身　地：新潟県三条市
出身大学：山形大学
趣味・特技：映画鑑賞、旅行
抱　　負：
頑張ります！よろしくお願いします。

病院祭

2016 10/8(土)

今年は移転新築から 10 年になりました。
そこで **ネクストステージ上越総合病院～移転 10 周年これからも地域と共に～** をテーマに掲げ開催いたしました。

オープニング

よさこい踊り“トッキッキも踊りました”

保倉川太鼓

クラシックコンサート
（M.I.D JAPAN Inc）

喫茶店

水ヨーヨー釣り

フランクフルト・たこ焼き販売

医学講演「乳がんの話」
（藤田亘浩 副院長）

パネル展　10年の歩み

地域の皆様より多くのご参加をいただきまして、ありがとうございました。
これからも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

新潟厚生連　上越総合病院　医師一覧表

平成28年10月現在

内　科	呼吸器	外山譲二
	呼吸器	小原竜軌
	呼吸器	月岡啓輔
	呼吸器	藤戸信宏
	消化器	武井伸一
	消化器	合志　聡
	消化器	鈴木庸弘
	消化器	禿　晃仁
	消化器	野尻俊介
	腎・糖尿病	亀田茂美
	腎・糖尿病	後藤　慧
内　科（非常勤医師）	腎・糖尿病	上野光博
	糖尿病内分泌	笹岡利安
	糖尿病内分泌	岡部圭介
	血　液	野村憲一
	和　漢	藤本　誠
	和　漢	野上達也
	呼吸器	清水夏恵
総合診療科		大堀高志
		麻生祐嗣
		今西　明
循環器内科		篭島　充
		長谷川智也
		田畑裕章
神経内科		福原信義
		鈴木　隆
	非常勤医師	春日健作
	非常勤医師	徳武孝允
	非常勤医師	小松潤史
	非常勤医師	畠山公大
小　児　科		土谷修一
		中山有美
	非常勤医師	雅楽川隆
歯科口腔外科		桑原　徹
検　査　科		巻渕隆夫
病理診断科		関谷政雄

外　科	乳腺外来	藤田亘浩
		伊達和俊
		小出則彦
		藤田加奈子
		平島浩太郎
		丸山智宏
呼吸器外科		尾嶋紀洋
脳神経外科		江塚　勇
		荒川泰明
	非常勤医師	亀山茂樹
産婦人科		相田　浩
		小幡宏昭
		廣井　威
		堀内綾乃
耳鼻咽喉科	非常勤医師	高倉大匡
	非常勤医師	阿部秀晴
眼　科		佐藤昭一
		大塚光哉
	非常勤医師	東條直貴
	非常勤医師	三原美晴
	非常勤医師	宮腰晃央
	非常勤医師	藤田和也
整形外科		渡部公正
		相場知宏
	非常勤医師	東條　猛
	非常勤医師	金森昌彦
	非常勤医師	元村　拓
泌尿器科		里見定信
	非常勤医師	渡部明彦
皮膚科		竹上與志昌
救急科		丸山正則
麻酔科		朝日丈尚
		加藤　晋
		加藤麻紀子
放射線治療科		江部和勇
放射線科		加藤　洋

早朝検査の実施について（予約患者様のみ）

当院では、外来患者様の待ち時間を短縮する取り組みとして、検査の受付時刻を従来の８時３０分より３０分早めて行っております。それにより患者様にはスムーズに診察を受けて頂けると考えております。